

2021年6月16日

東急不動産ホールディングス株式会社

## Agya Ventures Fund L.P.への出資について

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、この度 Agya Ventures Fund (GP) LLC が運営するファンドである「Agya Ventures Fund L.P.」へ出資をいたしましたのでお知らせいたします。

### 1. Agya Ventures Fund L.P.について

「日本を不動産・まちづくりの分野において世界の中心地にする」というビジョンを掲げ、北米を中心とした世界各国の不動産テック領域に特化した投資を行うベンチャー・キャピタル（VC）ファンドです。



### Agya Ventures Fund L.P.概要

名称	Agya Ventures Fund L.P.
代表者	Kunal Lunawat・井口 信人
設立	2020年12月18日
所在地	430 Park Avenue, Floor: 19, New York, NY 10022
投資領域	北米を中心とした世界各国の不動産テック領域のシード・アーリー期のスタートアップ企業

### 2. 出資の背景及び目的

当社は、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の全社方針として、デジタル活用による事業変革の推進や新しい体験価値の創出を掲げており、それらを加速させていくためにベンチャー企業との連携を深めてまいります。これまでも、外部機関協力のもと2017年に創設した「TFHD Open Innovation Program」を通じて、自社の経営資源と外部パートナーのノウハウ・技術を組み合わせて新たな価値を創造すべく、革新的なベンチャー企業への出資・連携を推進してまいりました。着実に実績を重ね、現在では投資社数21社まで到達いたしました。

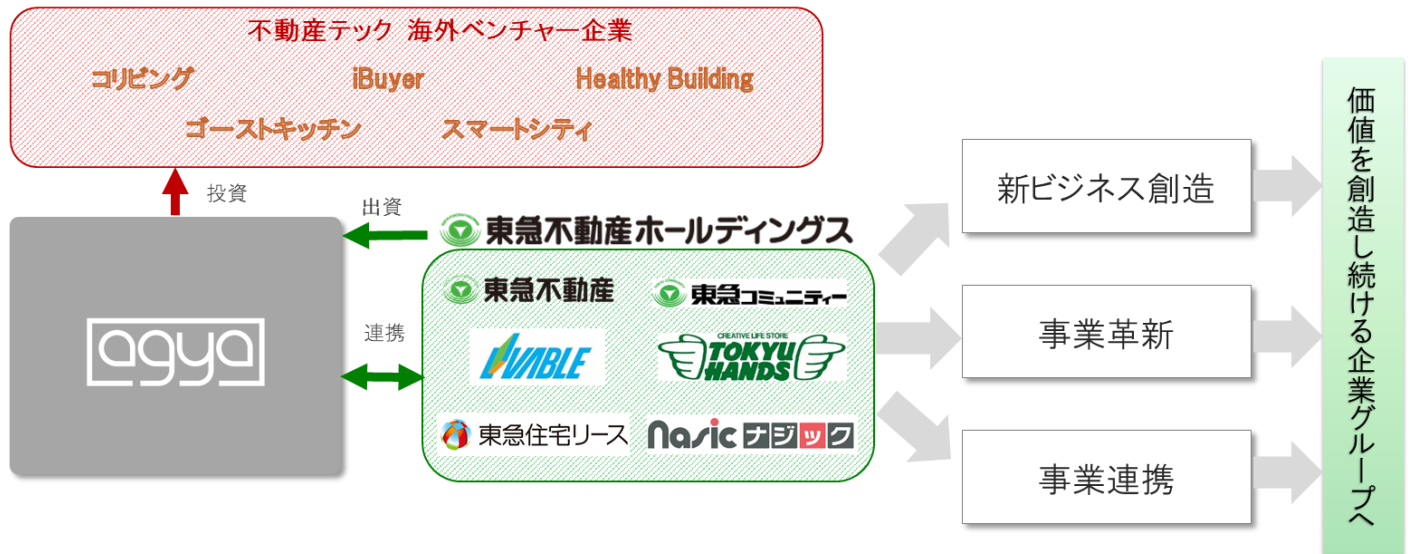
そのような活動のなかで、今回文化・慣習・法令の違いを超え海外のベンチャー企業へのアクセスを強化するため、米国ニューヨークを拠点とする「Agya Ventures Fund L.P.」への出資を実行いたしました。海外の不動産テックにおいては、コリピング・iBuyerをはじめ既存のビジネスモデルそのものを革新するベンチャー企業が数多く存在し、新たなトレンド・ビジネスモデルが創出されております。日本未進出のアーリー期のベンチャー企業へ早期接触し、パートナーシップの構築、新規事業の共創など、当社グループの更なるイノベーション創出に繋げてまいります。



### 3. 今後目指す展開

コロナ禍により、リモートワークの普及や消費行動の変化など、生活者の行動が大きく変容し、当社グループを取り巻く事業環境は、大きく変化していています。そういった変化にいち早く対応し、新たな価値を創造していけるよう、「Agya Ventures Fund L.P.」と連携を図りながら日本でも大きく飛躍する海外ベンチャー企業、ビジネスモデルの発掘に取り組んでまいります。

#### 【当社が目指す連携体制】



#### ■ 長期ビジョンで取り組むテーマと、貢献する SDGs

東急不動産ホールディングスグループは 2021 年、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」において「WE ARE GREEN」をスローガンに、価値を創造し続ける企業グループを目指し、グループの強みを活かして、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来をつくることを宣言しました。その実現のために、6つの取り組みテーマ（マテリアリティ）を定め、それに基づく4つの重点戦略を掲げています。これらの取り組みは、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献すると考えます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）及び SDGs は以下の通りです。

「本リリースにおける取り組みテーマ(マテリアリティ)」

多彩な  
ライフスタイルをつくる

ライフスタイル

ウェルビーイングな  
街と暮らしをつくる

街と暮らし

デジタル時代の  
価値をつくる

デジタル

「貢献する SDGs」

8 働きがいも  
経済成長も

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

11 住み続けられる  
まちづくりを

東急不動産ホールディングスグループ 長期ビジョン「GROUP VISION 2030」について  
<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

